



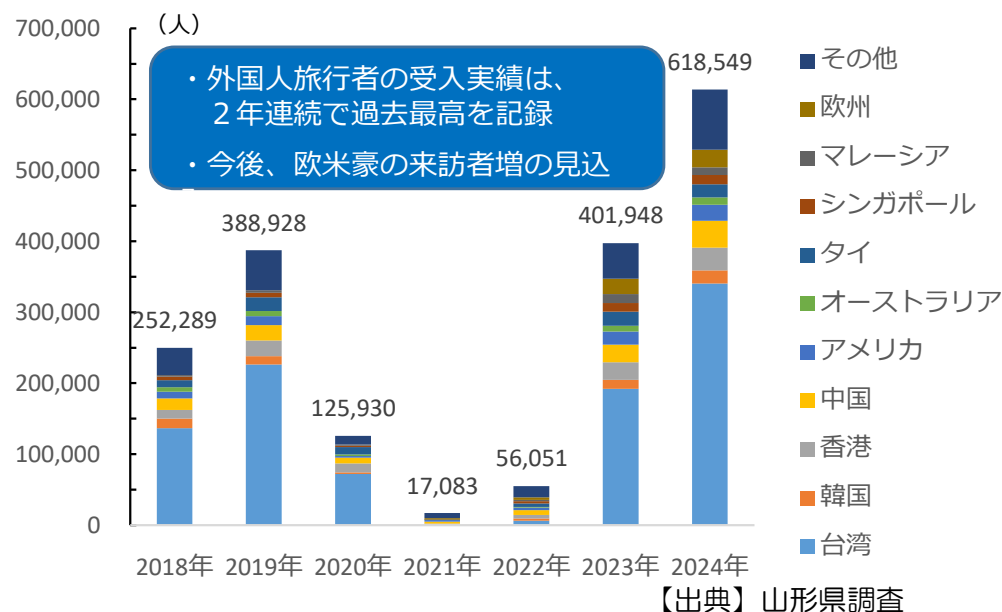
「2026年に行くべき世界の旅行先」への選出を契機とした、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組みについて

■世界的メディアが日本で唯一山形県を選出！ ■県の主な取組み

世界をリードするメディアブランド「ナショナルジオグラフィック」が「**2026年に行くべき世界の旅行先25選**」として日本から唯一山形県を選出。

本県の豊かな**自然**や**精神文化**、多様な**観光資源**、優れた**食文化**など、数多くの魅力や優位性が海外に発信⇒欧米豪の**来訪者増の見込**

【外国人旅行者県内受入実績の推移（地域別）】



1. インバウンドの受入環境整備

①インバウンド受入環境整備支援事業

宿泊施設等が行う、多言語化対応等の環境整備を支援

②二次交通態勢整備支援事業

駅と観光地等を結ぶ二次交通の整備事業等経費を支援

③プロガイド人材育成事業

既存ガイドの育成支援、山形県版認定ガイドの養成

④観光コンテンツ造成整備事業

精神文化等の資源を活用したコンテンツ造成を支援

2. 魅力発信強化

①プロモーション映像作成

多様な観光資源の魅力を発信する映像の制作

②県外への発信に効果的な媒体の活用

S N S 等による誘導を含めた情報発信

3. 新たな観光財源の検討

令和8年3月、有識者懇話会から「宿泊税等の新たな財源の検討」について提言を受ける。

→様々な関係者と議論を重ね、ニーズを十分に吸い上げながら、新たな観光財源の導入について、検討を加速

■「世界の旅行先」への選出を契機に、国内外から様々な方々を迎え入れ、満足度を高め、リピーターになってもらうことが重要。そのため、**多言語化等の受入環境の整備**や、県内外への**プロモーション強化**の取組みを共に進めていただきますようお願いいたします。